



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークがなっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

しょうせい

翔生

vol.36

平成 15 年 12 月号

発行

全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847
<http://www.icci.or.jp/>

編集

■広報委員会
担当副会長 清水 雅文
委員長 丸山 利弘
委員 小幡 山田 英樹
副委員長 山本 朝孝
委員 東郷 隆浩
川井真太郎 菊池 健二

みんなちがって、みんないい！



平成 15 年度
全国商工会議所
青年部連合会長
鈴木 悌介

9つの大会は、それぞれに特徴ある大会でした。それぞれに開催地の皆さんの思い入れたっぷりの大会でした。それぞれの大会の素晴らしさとその実現に関わったYEGの皆さんの力に改めて感服いたしました。

そして同時に、個性溢れる9つの大会を体感させていただいた今、この9つのブロックのエネルギーの大きさと、それがひとつとなった時の可能性に思いを馳せ、体が熱くなって参ります。

明々と燃え盛る9つの松明を束ね、未だ良く見えて来ないこの国の未来を照らす道しるべに、しなくてはと武者ぶるいをしております。個性溢れる9つのブロックの力を個性を活かしながら、ひとつに束ねることができると確信しています。「知恵を集め、力を束ね、お互いを活かす」ということの大切さを今一度

見つめております。次世代のためにも、夢ある「美しい日本」をあきらめることなく。

また、9つの大会を通じて、「らしさ」、「個性」ということについて改めて考える機会をいただいたこともあり、ありがたいことでした。商売然りしかり、まちづくり然り、YEG活動然り、与えられているものに感謝し、それを磨いて活かすことの大切さ。「まだまだ日本中には宝物が一杯ある！」と感じました。

ブロック会長の皆様、実行委員会の皆様、そしてそれを支えてくださった各ブロック内のYEGの皆様、ご苦労さまでございました。皆様のご努力に心からの敬意と感謝を表させていただきます。

ブロック大会というイベントが一過性のもので終わるのでは

なく、各地域が、各単会が、そしてご自身が「変わる」きっかけになって欲しいと衷心から願うものであります。

9つ全ての大会を主催者の一員として体験できた僥倖に感謝しつつ・・・。

追記：表題は私の好きな金子みすずさんの詩の一節です。



Contents

ブロック大会を終えて

- 畿 国
- 近 東
- 四 北
- 関 信
- 北 越
- 海 道
- 東 北
- 中 国
- 九 州
- 東 海

鈴木会長対談集

『石垣』寄稿記録

YEG HPライブラリ

メルマガ 八～十三号

翔生は、ペーパーレスです。
どんどんダウンロードしてお読みください。

ブロック大会を終えて・・・ 平成 15 年 8 月 29 日～10 月 18 日

近畿 ブロック

加古川 大会



～近畿! げんき! 加古川へ来っ!～
加古川で人もうけ!

8月29日(金) , 30日(土)

29 日 ビジネスネットワーク委員会交流会／業種別部会プレ会議／近畿ブロック連合会会長会議及び総会／前泊者交流会
30 日 記念式典
記念講演 テーマ「夢しか実現しない」講師:(株)アントレプレナーセンター社長 福島正伸氏
分科会 (業種別部会対抗ウルトラクイズ)、大懇親会大物産展「加古川楽市」



加古川商工会議所青年部
会長 渋谷 雅男

大会を振り返って、大会長から一言

全国のトップを切っただけの開催ということもあって、商青連役員をはじめ、ブロック外からも多くのYEGに参加して頂きました。記念式典でのトラブルなど、正直言って”完璧”な出来ではなかったように思えますが、多くのスタッフの尽力に恵まれ大盛會に終えた事に感謝し、感謝しております。業種別部会の立ち上げ、市民をも巻き込んだ大物産展「加古川楽市」、そしてエコスタイルの導入。これらの企画により、本大会は”加古川らしい”ブロック大会として、今までにない、”新しいブロック大会の形”を、加古川から全国へ発信できたと思っております。



(株)アントレプレナーセンター社長
福島 正伸 氏

もっとも印象に残ったことは?

30日夕方、雨に降られたにもかかわらず、多くの参加者が大懇親会の最後まで参加して頂き、フィナーレの「夢はあざやかに」で”参加者の気持ちがひとつ”になることが出来ました。感激しました。

とても困ったことは?

記念式典の単会紹介におきまして、パワーポイントのトラブルにより、紹介漏れが起り、参加者の皆様には、ご不快な思いをさせてしまいました。本当に申し訳ございませんでした。

一番成功したイベントは?

大物産展「加古川楽市」にブロック大会参加者はもとより、1万2000人の市民参加を得て、楽しんで頂きました。

また業種別部会対抗ウルトラクイズで、同業種メンバーの交流が出来ました。



心地よい緊張感に包まれる記念式典

加古川商工会議所青年部

TEL 0794-24-3355 FAX 0794-24-7157

<http://www.kakogawa.net/yeg/>

E-mail yeg@kakogawa.net



世界に響くNO. 1は四国から！

9月11日(木) , 12日(金) , 13日(土)

- 11 日 前泊者懇親会
12 日 商青連諸会議／
第1分科会 テーマ:『ベストを尽くすことがチャンスと呼び込む』講師:ナイトライド・セミコンダクター(株) 代表取締役社長 村本宜彦氏／
第2分科会 テーマ:『大塚国際美術館視察 内容:日本最大の展示スペース(延床面積29,412㎡)を有する「陶板名画美術館」の館内視察／
第3分科会 テーマ:『ビジネスネットワーク委員会』
記念講演 テーマ:『運命の出会いから世界の映画現場へ』講師:(株)メイクアップディメンションズ代表 江川悦子氏
記念式典／大懇親会 大塚国際美術館シスターナホールにて開催
13 日 エクスカーション



四国ブロック 代表理事
芝野 光

大会を振り返って、大会長から一言

私自身では、何の為に YEG があり、何故ブロック大会なのかを考えさせられました。単会の若いメンバーには YEG が云々より、仕事抜きでのイベントの難しさや達成感を味わせる事ができました。新入会員には理屈よりも体で感じることで“先輩達はこの事を言っていたのか・・・” “この体験は仕事に生かせる・・・”等々良い経験をさせてやれました。さらに、地域との結びつきが如何に必要で、大切なものであるのかも、実感いたしました。

ブロック大会は私達にとってきっかけ作りです。企画、準備、実行、反省・・・、このような内容すべてが、それぞれの企業に、地域に役立てる事ができます。今回の成功をきっかけにして、鳴門から四国から日本を元気にする事ができたら・・・素敵なことです。



もっとも印象に残ったことは？

式典と懇親会のドンデン。シュミレーションしたとは言え、10分近く押した式典から予定通りに懇親会に突入できた事。出席者はもちろん、私自身びっくりしました。

とても困ったことは？

当日に出席頂いた四国のメンバーはもちろん、ブロック外のすべてのメンバーを判り易く、しかも限られた時間内で紹介する為には・・・に尽きます。



一番成功したイベントは？

式典、分科会共、すべてがうまく行きましたのであえて一番はございません。只、イベントとは言えませんが、今回の大会により YEG の存在を広く大塚グループに強く印象付ける事ができ、次回の何らかのイベントに向けてのプレゼンとする事ができました。

ブロック大会を終えて・・・ 平成 15 年 8 月 29 日～10 月 18 日

関 東 ブ ロ ッ ク

館 林 大 会



9月13日(土) , 14日(日)

- 13 日 エクスカーション ゴルフ(プロ参加)・ボーリング大会(プロ参加)
第2回定時総会 / 会長会議 / 前泊者懇親会
- 14 日 分科会 荻原健司氏講演会 / 地元工場見学 / 館林市市内見学 / 県立館林美術館館長講演 /
コミュニティビジネス委員会 / ビジネスネットワーク委員会 /
記念式典 / 記念講演 元内閣総理大臣 衆議院議員 中曽根康弘先生 テーマ「転換期。日本の課題」 /
大懇親会 館林卸売市場



館林商工会議所青年部
会 長 正 田 隆

大会を振り返って、大会長から一言

本当に多くのメンバーと商青連・県外メンバーにお越しいただき、感無量の2日間でした。天候にも恵まれ、気持ちの良い時間をみんなと過ごせたのが、何よりでした。ほぼスケジュール通りに進んだのも、参加いただいたメンバーの協力のお陰と感謝します。残念だったのが、館林を空からご覧頂こうと思って企画した、熱気球が風の為、中止になった事でした。この一年半、メンバーは大変だったと思いますが、勉強になり、より絆が深まったようです。来年の上尾(埼玉県)へも多くのメンバーの参加をよろしく願います。「ありがとうございました。」



おいおいに盛り上がった前泊者懇親会

もっとも印象に残ったことは？

なんといっても、大懇親会でのメンバーの熱気でした。
やはり 1,100 名の胃袋は凄い。

とても困ったことは？

中曽根先生の警備が想像以上に大変だったこと。SP、県警のみなさんに感謝します。

一番成功したイベントは？

すべてに満足していますが、記念式典が時間通りに終わられたことにはホッとしています。



分科会では地元工場見学も。
説明に一心に耳を傾けるメンバーたち

館林商工会議所青年部

TEL 0276-74-5121

FAX 0276-75-2563

<http://www.tatebayashi-cci.or.jp/kanblo/>

E-mail azalea@tatebayashi-cci.or.jp

9月18日(木) , 19日(金)

- 18 日 分科会 第1分科会「我が商売 こだわり勝負 キリンビールの挑戦」/
第2分科会「我が商売 伝統で勝負 松任の歴史と文化めぐり」/
第3分科会「我が商売 技で勝負 和太鼓・炎太鼓とのふれあい」/
第4分科会 ご縁満開YEGビジネス交流会～YEGビジネスサイトを活用した3万人の中のビジネスチャンス
大懇親会 テーマ「米どころ 酒どころ 千代女の里」/ 大物産展
- 19 日 記念式典 /
記念講演 森永卓郎氏(株UFJ総合研究所 主席研究員)テーマ「地域経済再生のカギ いま経営者に求められるもの」 / 大物産展



松任商工会議所青年部
会 長 寺 田 智

大会を振り返って、大会長から一言

今回「我が商売 十八番で勝負」を開催地テーマに大会を主管させていただきましたが、北陸信越ブロックをはじめ全国から多数の登録・参加を頂いたことに心より感謝と御礼を申し上げます。

分科会・懇親会等を通じて、十八番とする松任の地場産業・観光・物産をブロック内外に広く発信するまたとない機会となりました。また参加された方々にも大会を通じて、お互いの友情を深めていただき、個々のビジネスに役立つヒントを得ていただけたのではないかと思います。

記念式典の時間配分にて若干タイムロスがありましたが、大会全体を通してみるとスムーズに進行したと思います。

大会を通じて得た情報や友情を今後の青年部活動並びに個々の企業経営に役立てていきたいと思っています。



記念式典で壇上に立つ宮島会長

もっとも印象に残ったことは？

当然のことかもしれませんが、松任 YEG のメンバーが普段の活動からは想像できないくらい、大会の成功へ向けて頑張ってくれたことです。

とても困ったことは？

大会直前まで登録数が確定しなかったこと。懇親会に比べ式典・講演会の出席者数が少なかったこと。

一番成功したイベントは？

出席者数は思ったほど伸びませんでしたが、記念式典はほぼタイムスケジュール通りに終えることが出来良かったと思います。

また、講演会の内容もとても評判がよかったです。



大盛況の大物産展

ブロック大会を終えて・・・ 平成 15 年 8 月 29 日～10 月 18 日

北海道ブロック

北見大会



～ 今、
真の交流を求めて

絆

9月19日(金) , 20日(土) , 21日(日)

19 日 ウェルカムパーティー(前泊者交流会)

20 日 北海道ブロック商工会議所青年部会長会議 / 北海道YEGナンバーワン決定戦 ・ ゴルフの部 ミニバレーの部
麻雀の部 / 商青連ビジネス交流会 / 大懇親会 / 物産展Part I / 北見ナイト

21 日 記念式典 / 記念講演 講師 King Of Ski 荻原 健司 氏 テーマ「私のスキー人生」

大会を振り返って、大会長から一言



北見商工会議所青年部
会 長 舩 川 誠

第 16 回北海道ブロック大会北見大会は 9 月 19・20・21 日の日程を経て無事終了することが出来ました。全道・全国各地からお集まりいただいた YEG の皆様、そして関係各位のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

本大会では『絆 ～今、真の交流を求めて～』を開催地テーマとし、創立 3 年目の当単会が精一杯の力を振り絞って、明日の YEG を切り拓くパワーをそれぞれの地域に・企業に持ち帰っていただくために、そしてご参加いただいた皆様の心に残る大会を目指し、頑張ってきたつもりであります。当単会にとりましてこれほど修練になったことは無く、また皆で創り上げることの喜びを知り、この上ない機会を与えていただいたと思っております。皆さん本当にありがとうございました。

もっとも印象に残ったことは？

全てのプログラムを終了し、ご参加いただいた皆さんをお見送りする場で、多くの方々からお褒めとねぎらいの言葉を頂いたこと。そして何より当日の打ち上げでのメンバーの達成感に満ちた笑顔、あふれる涙で抱き合い酒を飲む姿。

とても困ったことは？

誰より苦勞をされ今大会を成功に導かれた北見 YEG 初代会長 鈴木達裕 実行委員長が開催中表舞台に立つことをかたくなに拒まれたこと。ひたすらに三日間運営を仕切って頂きました。紙面をお借りして改めて「実行委員長 本当にお疲れ様でした」

一番成功したイベントは？

一人のドタキャンも無く開催された北海道 YEG ナンバーワン決定戦(ゴルフ 19 組・麻雀 9 卓・ミニバレー 13 チーム)、屋外での大懇親会、指定店全店舗を 24 時まで飲み放題・廻り放題とした北見ナイト、ランチをとりながらのフェアウェルパーティー、全て初のころみだけに優劣をつけず一番ということで・・・



熱弁を振る
荻原 健司 氏



真剣に取り組むビジネス交流会

北見商工会議所青年部 TEL 0157-23-4111 FAX 0157-22-2282

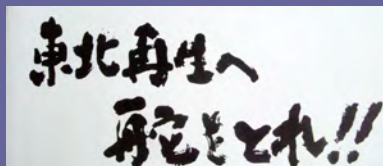
<http://www.kitami-yeg.com/>

E-mail kizuna@kitami.yeg.com

ブロック大会を終えて・・・ 平成 15 年 8 月 29 日～10 月 18 日

東北ブロック

気仙沼大会



9月26日(金) . 27日(土)

親睦ゴルフ大会・前泊者懇親会 平成 15 年東北ブロック臨時総会・会長会議

26 日 第 1 分科会 商青連コミュニティビジネス委員会「知ってトクする目からウロコのコミュニティビジネス」／

第 2 分科会 商青連ビジネスネットワーク委員会「ご縁満開 YEG ビジネス交流会」／

第 3 分科会 畠山重篤氏の洋上講演「牡蠣の森を海から見る」／

第 4 分科会 遠洋マグロ船見学「マグロ船から見たグローバリゼーション」／大懇親会：サンマリン気仙沼ホテル観洋

27 日 記念式典：気仙沼市民会館 記念講演：中華の鉄人 陳建一氏 テーマ『みんなでやればなんとかなるさ』

エクスカッション 究極のサカナを食べ隊（ブロック大会特別メニュー）



気仙沼大会 大会会長
坂井 政行

大会を振り返って、大会長から一言

交通面での不便さはあったものの、本当に商青連役員の皆様ほか県外の皆様、またブロック内の皆様には多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。

大会当日 26 日の早朝には予期せぬ地震があり、冷や汗が出ましたが当地方への影響も無く、大会全体を通しましても無事終了できましたことに厚く御礼を申し上げます。

三年がかりにて準備をおこなってまいりましたが、参加頂いた青年部メンバーの皆様へ十分に気仙沼の魅力を伝えることが出来たのではないかなと思っております。皆様のご支援ご協力、誠にありがとうございました。



中華の鉄人 陳 建一氏

もっとも印象に残ったことは？

今回、全体テーマを『食』とし開催させていただきました。得に懇親会には力を入れ、地元寿司組合による新鮮魚介類の寿司の振舞い、気仙沼の高級食材でありますフカヒレを使ったふかひれスープ等、海の幸を中心とし気仙沼の地域資源をふんだんに振舞いました。また、記念講演 講師であります陳建一氏も登場、実際に腕を振るってもらいマーボー豆腐も作ってもらいました。皆様にはとても満足を取ったのではないかと思います。

一番成功したイベントは？

全体的に大会スケジュール通りに進めることが出来、一番時間を費やした記念式典が何事も無く時間通りに終了できたことが良かった。



畠山 重篤 氏の講演に耳を傾けるメンバー

気仙沼商工会議所青年部

TEL 0226-22-4600

FAX 0226-24-3817

<http://www.kesenuma.or.jp/>

E-mail kccitn1@k-macs.ne.jp



集え！歴史の舞台へ

10月3日(金) , 4日(土)

3日 中国ブロック商工会議所青年部連合会第2回会議 / 中国ブロック商工会議所青年部第2回会長会議 / 前泊者懇親会

4日 記念式典

記念講演 講師:(株)福岡ダイエーホークス 代表取締役 高塚 猛氏 演題:NEW グランドマネジメント「企業再生」の経営哲学

分科会 ①講演 講師:日本銀行下関支店支店長 武藤 清氏 演題:これからの日本経済と企業経営

②講演 講師:元下関図書館長 清永 唯夫氏 演題:長州藩の藩政に学ぶこと

③商青連 コミュニティービジネス委員会 知ってトクする 目からウロコのコミュニティービジネス

④商青連 ビジネスネットワーク委員会 YEGビジネス交流会 ⑤関門海峡クルージング

大懇親会



中国ブロック代表理事
富永 洋一

大会を振り返って、大会長から一言

「集え!!歴史の舞台へ」をスローガンに開催致しました中国ブロック大会も皆様のご支援、ご協力のお陰で大盛況のうちに無事終了することができました。

時代の変革期には、必ず歴史の舞台に登場する下関市で先人達が成し遂げた偉業の息吹を五感で感じとって頂ければ幸いです。

今から百数十年前、この長州の地より青年の志と力が日本を変革に導きました。先行き不透明な昨今、私達 YEG の志と力を結集し日本を変えようではありませんか！

最後に、商青連の役員の皆様、中国ブロックの皆様、他関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

もっとも印象に残ったことは？

懇親会最後に実行委員長が挨拶をした後、山口県連の仲間達が壇上に駆け上がり、実行委員長・会長・ブロック代表理事を胴上げして頂きました。県連の仲間達の熱い友情を感じた一幕でした。

とても困ったことは？

どこでも見受けられることですが、記念講演や分科会の参加率が低いことです。お願いした講師の方々に申し訳なく思います。ただ、参加した会員からは、様に良いお話だったと言って頂きました。残念です。

一番成功したイベントは？

やはり、大懇親会だと思います。最後まで多くの会員に会場内に残って頂き、締めくくりのご縁満開バンドの大合唱は会場いっぱいの厚い大輪となりました。感動！で終えることができたと思います。



記念式典



皆ひとつの輪になって大合唱



と き く に
時代を越え挑戦する地域づくり

スピリッツ
未来を築く明倫堂精神

10月10日(金) , 11日(土) , 12日(日)

- 10 日 前泊者懇親会
11 日 記念式典 / 記念講演会 講師 ジェームス三木氏(脚本家) 演題 「歴史に見る改革と創造」
分科会 第1分科会 黒木敏之氏((資)黒木本店代表社員)講演会
第2分科会 高鍋歴史探訪
第3分科会 美味探訪
第4分科会 ご縁満開 YEGビジネス交流会 / OBサロン / 大懇親会
12 日 県別対抗ゴルフコンペ



高鍋商工会議所青年部
会 長 岩切 正史

大会を振り返って、大会長から一言

九州ブロック商工会議所青年部連合会主催としては初めてとなった、九州ブロック大会高鍋大会でありましたが、私の日頃の不徳な行いとは関係ないとは思いますが、あいにくの悪天候となってしまい、参加された方々に置かれましては、記念講演が中止となりましたことを始め、不行き届きな点が多々ありましたことを平にお詫び申し上げます。

今後、この大会を契機として、九州ブロック内はもとより全国各地のYEGメンバー同士の交流と連携をさらに深め、より一層地域に貢献できる活動ができるものと確信しております。

もっとも印象に残ったことは？

悪天候のため、記念講演の講師ジェームス三木氏を乗せた飛行機が宮崎空港に到着せず、福岡空港に到着し記念講演が中止になってしまい、実行委員会一同式典関係者以外大変な騒動でした。

とても困ったことは？

悪天候のため、記念講演の講師ジェームス三木氏を乗せた飛行機が宮崎空港に到着せず、福岡空港に到着し記念講演が中止になってしまい、空いてしまった時間をどう埋めるか大変悩んだ。

一番成功したイベントは？

前泊者懇親会において、大脇唯真直前会長が「おどま薩州」をテナーサクソと太鼓の生演奏で、鈴木倂介会長は「遠くで汽笛を聞きながら」をギター伴奏により熱唱されたこと。岩切プロ代も持ち歌「あのすばらしい愛をもう一度」を笑顔で快唱！ 大懇親会においては悪天候により熊本と福岡に着陸したご縁満開一座によるフィナーレ。会員メンバー出店による料理の提供は、大人数を相手の貴重な経験となった。



力のこもった太鼓の生演奏



8月号

環日本海交流

新時代を迎えて

全国商工会議所 青年部連合会 副会長 清水 雅文

単会紹介

登別商工会議所青年部
気仙沼商工会議所青年部

五所川原商工会議所青年部
横手商工会議所青年部

釜石商工会議所青年部

対談

日本商工会議所 会頭 山口 信夫 氏

×

全国商工会議所 青年部連合会 会長 鈴木 悌介



9月号

青年部をつくってください！ 北海道ブロック代表理事 江戸 雅夫

私達ができること。私達が目指すもの 東北ブロック代表理事 坪井 大雄

単会紹介

山形商工会議所青年部
勝田商工会議所青年部

秋田商工会議所青年部
大津商工会議所青年部

大田原商工会議所青年部



10月号

優しさ(地域・人・もの) 思いやり(人) 情熱(心)

全国商工会議所 青年部連合会 副会長 小園 浩幸

単会紹介

加茂商工会議所青年部
相模商工会議所青年部

春日部商工会議所青年部
三島商工会議所青年部

千葉商工会議所青年部

対談

榊一市村酒造場 取締役 セーラ・マリ・カミングス 氏

×

全国商工会議所 青年部連合会 会長 鈴木 悌介



11月号

人的ネットワークが財産

関東ブロック代表理事 小暮 達也

今こそ原点に帰るべき

北陸信越ブロック代表理事 宮島 隆幸

単会紹介

高岡商工会議所青年部
東海商工会議所青年部

小松商工会議所青年部
関商工会議所青年部

中野商工会議所青年部

対談

鳥取県知事 片山 善博 氏

×

全国商工会議所 青年部連合会 会長 鈴木 悌介

ブロック大会を終えて・・・ 平成 15 年 8 月 29 日～10 月 18 日

東 海 ブ ロ ッ ク

松 阪 大 会



「熱き心に」
燃える松阪！ 商人魂



10月16日(木) , 17日(金) , 18日(土)

16 日 前泊者懇親会

17 日 記念式典／記念講演会 テーマ 激動の時代を切りひらくために・・・「イトーヨーカドーグループの経営」に学ぶ
講師 (株)イトーヨーカ堂代表取締役会長最高経営責任 (株)セブン・イレブン・ジャパン代表取締役会長最高経営責任者 鈴木敏文氏
コーディネーター 経済ジャーナリスト 財部誠一 氏

分科会 第 1 分科会 講師講演会 テーマ「あきんどの心」講師 (財)修養団常務理事 中山靖雄 氏

第 2 分科会 企業視察 テーマ「あきんどの力」視察先 (株)三重エスカルゴ開発研究所

第 3 分科会 市内視察テーマ「あきんどの礎」A コース:文学道に学ぶ B コース:商人道に学ぶ / 大懇親会

18 日 エクスカーション : ゴルフコンペ 松阪カントリークラブ



松阪商工会議所青年部
会 長 北 勇 人

大会を振り返って、大会長から一言

東海ブロック大会の主管は、松阪 Y E G 創立以来最大の事業となりました。メンバーには大会終了まで大きな労力と時間を費やしてもらいました。事業を進めていく過程では、様々な問題、障害も発生しましたが、大きな事業を無事やり終えることが出来、メンバー一人ひとりが大きな達成感と満足感を感じてくれたと思います。ブロック大会の成功はメンバーの一人ひとりが、自分で考え行動できた結果だと思えます。この経験は、今後の松阪 Y E G の事業のみならず、メンバーの事業にも必ず役立つものと信じます。ブロック大会の主管は、私にとっても、メンバーにとっても最高の経験でした。ブロック内はもとより全国の Y E G メンバーとの出会から多くの感動をいただきました、本当にありがとうございました。



(株)イトーヨーカ堂代表取締役会長最高経営責任者 鈴木 敏文氏

もっとも印象に残ったことは？

参加者から大懇親会終了後に、笑顔で「ありがとう」、「良かったよ」と言ってもらえたこと。

終了後の松阪 YEG のメンバーの笑顔。

とても困ったことは？

松阪には、1000人規模の参加者をお迎えしての懇親会を実施できる屋内の会場がなかったため、懇親会のメイン会場を屋外に設定せざるを得なかったこと。松阪らしさを感じていただくために牛肉をメインとしましたが、満足してもらえる肉の量、焼き方の工夫。

一番成功したイベントは？

式典から懇親会まですべて全力を尽くし成功した！と言いたいところですが、強いてあげるならば、屋外で行なった大懇親会です。約 250 個の七輪と約 400 キロの牛肉を用意して参加者全員に肉を焼いてもらいました。またアトラクションにサンバを取り入れ参加者全員でサンバのリズムで盛り上がりました。



記念式典は歓迎のフラメンコで始まった。

松阪商工会議所青年部 TEL 0598-51-7811 FAX 0598-51-3416

<http://www.matsusaka-yeg.gr.jp/>

E-mail matsusaka-yeg@matsusaka-yeg.gr.jp



榊一市村酒造場 取締役 セーラ・マリ・カミングス 氏

8月8日 榊一市村酒造場にて、
榊一市村酒造場 取締役 セーラ・マリ・カミングス氏と対談が行われた。
縁あってアメリカから長野県小布施に移り住み、老舗を活気あるものに生まれ変わらせた
女史の日本独自の素晴らしい文化、伝統を未来に受け継いでいかなければならないという
意志は近頃の日本人よりも強い。同じ見解を持つ鈴木会長と意気投合。小布施にある榊一
のテラスで対談はさわやかに進んだ。⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20030808/index.html>

セーラ・マリ・カミングス

大学在学中に日本に留学、卒業後再び日本を訪れ、長野県で就職。1994年に榊一市村酒造場に入社。
97年に同社の再構築に取り組み、翌年取締役に就任。国際北斎会議を小布施での開催「桶仕込み酒」の復活、
「小布施シヨンの開催など、さまざまな文化事業を手がけ、成功に導いている。



鳥取県知事 片山 善博 氏

9月10日 米子市米子全日空ホテルにて、鳥取県知事 片山善博氏との対談
が行われた。11月のYEG全国大会 米子大会の前に実現したこの対談では、
精力的に改革に邁進するふたりのリーダーの熱い思いが語り合われた。鈴木会
長の「環日本海交流」を大会コンセプトとした説明はおおいに知事の共感を得
た。話は食や教育、就業問題にまで及び、現行の行政の矛盾や、逆転の発想に
ついて、たいへん興味深い話が繰り広げられた。

⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20030910/taidan01.html>

片山 善博 (かたやま よしひろ)

1951年、岡山県生まれ。東大法学部を卒業後、自治省（現総務省）へ入省。大臣秘書官、鳥取県総務部長などを経て、
99年4月、同県知事に。現在2期目。政治家らの「ロリキ」内容の文書化を制度化するなど、徹底した情報公開を進めている。
現在、行政はもちろん、あらゆる分野から、最も注目されている県知事である。



ジャーナリスト 筑紫 哲也 氏

11月8日米子市米子全日空ホテルにて、ジャーナリストの筑紫哲也氏との対談が行われた。
非常にハードなスケジュールの中、東京から我が全国大会に來会された氏は、記念講演
では片山知事と対談。全国から集まったメンバーの注目を集めた。
記念講演終了後、鈴木会長との対談では、組織論として「横のつながりの重要性」、「やる気
のあるものが積極的にトライできるルールづくりの必要性」、「町おこしの具体的な情報」、そして
「もっとメディアを活用して外に発信することの勧め」など、これからのYEGの活動にとって
示唆に富む話が語られた。⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20031108/taidan01.html>

筑紫 哲也 (ちくしてつや)

1935年大分県生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞社に入社。「朝日ジャーナル」編集長を経て朝日新聞編集委員となる。1988
年から1989年までニューヨークに駐在。1989年よりTBSテレビ系「筑紫哲也ニュース23」のメインキャスターを務め現在に至る。1999年には
国際エミー賞優秀賞を受賞。テレビ・書籍などのメディア全般に関し、多岐にわたり活躍している。

2003年9月1日～11月18日

2003年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第23回全国大会(米子大会)レポートを掲載いたしました。 New!! ▶ 企業OB人材フォーラムの写真が追加されました。 New!! ▶ メールマガジン第十四号を発行しました。 New!!
2003年11月01日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ YEG 大賞のご案内に掲載いたしました。皆様のご応募お待ちしております。 ▶ 10月28日に行われた企業OB人材活用フォーラムの報告を掲載いたしました。 ▶ 平成15年度 商青連ホームページへのバナー広告募集のご案内を掲載いたしました。 ▶ 東海ブロック大会(松坂大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 中国ブロック大会(下関大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 北海道ブロック大会(北見大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 東北ブロック大会(気仙沼大会)振り返ってを掲載いたしました。 ▶ 茅野 YEG 表j 敬訪問報告を掲載いたしました。 ▶ 函館商工会議所会頭へ表敬訪問報告に写真を追加いたしました。 ▶ メールマガジン第十三号を発行しました。
2003年10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関東ブロック大会(館林大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 北信越ブロック大会(松任大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 東北ブロック大会(気仙沼大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 函館商工会議所会頭へ表敬訪問の報告を掲載いたしました。 ▶ 企業OB人材活用フォーラム開催され、鈴木会長がパネラー参加します。詳細はこちらのサイトから。 ▶ 引き続き翔生塾サンフランシスコに参加をお待ちしてます。サンノゼ商工会議所主催のアーノルド・シュワルツェネッガー知事のパーティに参加することが決定いたしました。 ▶ 仙台商工会議所月刊誌「飛躍9月号」に鈴木悌介会長が紹介されました。 ▶ 鳥取県・片山知事様と商青連・鈴木会長の対談の内容を掲載いたしました。 ▶ メールマガジン第十二号を発行しました。
2003年10月01日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北陸信越ブロック大会(松任大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ JCとYEGの将来の連携を考える勉強会の報告を掲載いたしました。 ▶ 全国商工会青年部連合会、松村会長と商青連鈴木会長との対談を掲載いたしました。 ▶ 企業OB人材活用フォーラム開催され、鈴木会長がパネラー参加します。詳細はこちらのサイトから。 ▶ 四国ブロック大会(鳴門大会)レポートを掲載いたしました。 ▶ 近畿ブロック大会(加古川大会)の感想『近畿ブロック大会を終えて』を掲載いたしました。 ▶ 鳥取県・片山知事様と商青連・鈴木会長の対談が新日本海新聞に掲載されました。 ▶ メールマガジン第十一号を発行しました。
2003年09月18日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 四国ブロック大会(鳴門大会)は無事終了しました。 ▶ 鳥取県・片山知事様と商青連・鈴木会長の対談を行いました。 ▶ 全国YEGビジネスフォーラムの報告を掲載いたしました。 ▶ 近畿ブロック大会(加古川大会)レポートページはこちらです。 ▶ 組織ページの組織を一部修正いたしました。

▶ [メールマガジン第十号](#)を発行しました。

2003年09月01日

▶ [翔生塾サンフランシスコ研修募集案内](#)のダウンロードは[こちら](#)からどうぞ。

▶ [YEG コミュニティビジネス・NPO 先進地アメリカセミナー開催の報告及び参加募集の案内](#)を掲載しました。

▶ [翔生 online ページにて翔生 7 月号\(35 号\)](#)を掲載しました。

▶ [セーラ・マリ・カミングス様と商青連・鈴木会長](#)の対談を行いました。

▶ [YEG ビジネスプラン作成研修会の報告](#)を掲載しました。

▶ [YEG ビジネスプランコンテスト審査](#)においてのポイントのダウンロードは[こちら](#)からどうぞ。

▶ [ブロック大会連絡会議の報告](#)を掲載しました。

▶ コミュニティビジネス委員会より[コミュニティビジネスに関する情報\(ホームページ・アドレス一覧\)](#)を掲載しました。

▶ [メールマガジン第九号](#)を発行しました。